

- * 明日は何をしようかな
- * タオル
- * 歩行器
- * 今週は通院の日
- * 文字盤
- * インターフォンが鳴る
- * 吸引器
- * 進む
- * 勉強する
- * 時計を見る
- * ヘルパーが来る
- * 座位保持装置
- * 段差
- * 通院する
- * エレベーター
- * 移乗
- * テレビを見る
- * 呼吸器
- * ヘルパーが来る
- * 若い人と過ごす
- * 車いすに乗る
- * 吸引器
- * 泣く
- * カテーテル
- * 経鼻経管栄養
- * 日曜日は家族で過ごす
- * ベッドでゆっくり
- * アルコール綿
- * ウトウト
- * ガーゼ
- * BP
- * 主治医と話す
- * 髪をセットする
- * 食事介助
- * SPOT
- * 空気清浄機
- * 注入
- * ゆっくりと過ごす
- * 夜中目が覚める
- * 夕飯の準備
- * 夢を見る
- * 歯を磨く
- * 胃ろう
- * 車いす
- * 元気よい
- * 学校の先生が来る
- * スマスマ
- * コン着替える
- * コーヒーブレイク
- * 寝返りをうつ
- * 顔を洗う
- * 人が家に来る
- * 歯を触る
- * お漫画を読む
- * 大人の話聞かされる
- * 外食
- * お漫画を読む
- * 名刺交換
- * 加湿器
- * 外食
- * お漫画を読む
- * 名刺交換
- * 加湿器
- * 外食
- * お漫画を読む
- * 名刺交換
- * 加湿器
- * 来月のスケジュール
- * 初日の出
- * 演劇に役どころがる
- * 訪問看護師が来る
- * フラれた日
- * ショーン
- * キッチン飯を食ふ
- * ちまつ
- * unusual
- * 初日の出
- * おせち
- * ぬき屋を帰る時間
- * 枕投げ
- * 雪に触れる
- * 七五三
- * 通勤
- * 女の予定は
- * 起きる機に乗る
- * 昔住んでいたところに行く
- * カロリー計算
- * 寝人
- * 鏡を見る
- * 雪に触れる
- * 七五三
- * 猿山に行く
- * 旧友に会う
- * エイプリルフール
- * 宝くじ
- * ハロウィン
- * 就職
- * 声が出る
- * 大声で泣く
- * 酒を飲む
- * こどもの日
- * ケお姉ちゃんに
- * 体温オーロラを見に行く
- * ホワイトデー
- * 勤労感謝の日
- * 体を動かす
- * お母さんとは離れて過ごす
- * 新幹線に乗る
- * 敬老の日
- * 母の日
- * お酒
- * 温泉旅行
- * 散歩
- * 風呂に入る
- * 酔いつぶれる
- * 飯が美味しい
- * 笑う
- * 怒鳴られる
- * サンタが来る
- * 遠出する
- * 夜の散歩
- * 同窓会
- * 講話の依頼
- * 映画
- * 動物園
- * ドライブ
- * 大晦日
- * 花火大会



ハレとケ

非日常

日常

ケアコミュニティハウスプロジェクト展

重い病気や障がいのある人の

「ハレとケのある暮らし」。

わたしたちなりに考えてみました。

2016
3 / 13 sun

open 10:00 — close 18:00
アクロス福岡2階 交流ギャラリー

ニコちゃんの会では、重い病気や障がいがあっても心豊かに暮らせる社会づくりの一環として「ケアコミュニティハウスプロジェクト」などさまざまな活動を行っています。そのひとつに、医療的ケアの必要な人の短期入所ができる場の模索と実施があります。それらの活動から見てきたケアコミュニティハウスのキーワードは「ハレとケ」。ハレは、非日常的な時間。ケは、日常的な時間。

私たちの生活は、ハレとケの時間がつながっていくことで進んでいきます。今回は、その「ハレとケのある暮らし」をテーマに展示会を行います。私たちが考えているケアコミュニティハウスがどのようなものであるのか、近い将来の実現を目指すこのプロジェクトを是非、見て、感じて、伝えていただけたら幸いです。

トーク・公演スケジュール ※申込は不要ですのでお気軽にお越し下さい。

展示時間中にハレとケをテーマにした
ゲストをお呼びしております。

ハレ 11:00～11:30
あいのてさん 演奏会(午前の部)

ケ 14:00～15:00
下川 和洋
「重い病気や障がいがある人が
地域でくらすということについて」

ハレ 15:30～16:00
あいのてさん 演奏会(午後の部)

あいのてさん 野村誠 片岡祐介 尾引浩志



2006年度、今までにないエキセントリックな幼児向け音楽番組として話題になった、NHK教育テレビの「あいのて」。その後、テレビを飛び出したあいのてさんは、日本各地、はたまた、イギリス、インドネシアなど海外でも、大活躍中！「帰ってきたあいのてさん」という、自分達の番組も作って、Youtubeで発表中。CD「あいのてさんライブイン富山」、「あいのてさん Live in Jogia」絶賛発売中！

下川 和洋



東京学芸大学初等教育教員養成課程卒業後、都立養護学校に勤務され、在職中より医療的ケアについての課題に積極的に取り組まれる。全国各地の学習会や研修会に講師として赴き、現在はNPO法人地域ケアさぼーと研究所理事として活躍されている。

ボランティア募集

ご興味のある方は是非お申し込みください。
皆様のご参加お待ちしております。

内容 イベントの設営・撤去・当日の会場案内等

日程 3/12(土)、3/13(日)

定員 10名

応募〆切 2/29(月)

※内容、日時をご希望をご相談ください。

その他なんでもお気軽にご連絡ください。

会場地図

アクロス福岡 2階 交流ギャラリー (福岡県福岡市中央区天神1-1-1アクロス福岡 2F)



ケアコミュニティハウスプロジェクト

現代は、介護サービスなどに支えられて重い病気や障がいのある人たちが、地域で暮らすことも可能になりつつあります。しかし、医療的ケアが必要な人たちはデイサービスや短期入所といったさまざまなサービスを思うように受けられていないのが現状です。常に命を脅かされている人達の不安、そして家族の疲労や不安は切実な状況にあります。このプロジェクトは、現状を少しでも改善し、さらには社会とのつながりや文化芸術に触れられる環境をつくり、こころ豊かな人生を応援する拠点を創造するものです。そして、団体の利益の一部をこのプロジェクトの基金に充当し、3～5年後の実現を目指しています。

〔機能①〕セカンドホーム (ショートステイ)

医療的ケアが濃厚で自宅を出ることが困難である人のための短期の宿泊の場や、病院を出て在宅で暮らすための体験の場。

〔機能②〕ケアアパート

医療的ケアが濃厚であっても自分のライフスタイルに合わせて、安心して暮らすことのできる独立した暮らしの場。

〔機能③〕アクティビティセンター

日中をその人らしいスタイルで過ごすことのできる通う場。

〔機能④〕診療所・訪問看護

医療ニーズの高い方や地域のための医療体制。

〔機能⑤〕nico cafe

人と人が交わるコミュニティスペース。

日常の交流や、演劇などの芸術やイベント等のさまざまな活用ができる地域に開かれた場。

認定NPO法人二つちゃんの会

どんなに重い病気や障がいがあっても、その人らしい豊かな人生を生き抜く事が出来る。そんな社会を目指すために活動を行っている団体です。芸術・研究・啓発・介護(日々の生活のサポート)など多岐にわたる活動を、医療関係者、障がいのあるひとの親をはじめとした幅広い分野のスタッフで企画・運営しています。

お問い合わせ

イベント・ボランティアなど
(担当 横山)

TEL 092-863-5903

MAIL info@nicochan.jp

WEB <http://www.nicochan.jp>